

6月4日に、広島地方気象台から、「中国地方が梅雨入りしたとみられる」と発表がありました。平年より3日早く、昨年よりは8日遅い梅雨入りです。園内では5月の花に続いて、梅雨の花が咲き始めました。また、中水池や防火水槽でモリアオガエルの卵塊が見られます

#### ★開花情報

##### ヤマボウシ（山法師）ミズキ科ミズキ属（写真1上）

白い4枚の花弁に見えるのは総苞片で、長さ3~8cmあり、展開直後は緑色を帯びています。本物の花は黄緑色を帯び花弁の長さは2.5mm程で、総苞片の中心に20~30個密集してつきます。箱根はヤマボウシの日本一の名所と呼ばれ、古くはクサと呼ばれていました。

場所：レストハウス前、出合の広場周辺他

##### ウツギ（空木）ユキノシタ科ウツギ属（写真1左下）

万葉集に「卯の花」の名で登場し、古くから日本人に親しまれている落葉低木で山林の日当たりのよい場所に自生します。枝や幹の中心が空洞になっているので、ウツギ（空木）と呼ばれています。白い花は直径1~1.5cmで、枝の先端に多数垂れ下がって咲きます。八重咲き品種のサラサウツギ（写真1右下）は花弁の外側がピンク色を帯びています。

場所：園内各所（ウツギ）、苗畑（サラサウツギ）

##### ハコネウツギ（箱根空木）スイカズラ科タニウツギ属（写真2左）

ウツギの名がつきますが、本種はスイカズラ科に分類される落葉低木です。ウツギと同様に幹、枝の中心は空洞です。咲き始めの花は白色で、徐々にピンク色から赤色に変わるため、3色の花を同時に見ることができます。近似種のニシキウツギより花の大きさが大きく、花冠の基部から急に膨れます。

場所：レストハウス前、中水池上、苗畑他

##### コアジサイ（小紫陽花）ユキノシタ科アジサイ属（写真2右）

別名シバアジサイと呼ばれ、山野の明るい場所に自生する落葉低木で、ヤマアジサイのような装飾花は無く、芳香のある淡紫色の小さな花を多数咲かせます。葉には毛が散生し、山型の鋸歯が特徴的です。

場所：県木の森横ハナノキの後方

##### センダン（梅檀）センダン科センダン属（写真3左）

海岸近くの日当たりのよい場所に自生する落葉高木で、大きいものは高さ20mに達するものもあります。古名をアフチ（棟）といい、万葉集でも登場します。花は紫色を帯び、花糸が合着し筒状になり、中心に雌しべが1本あります。葉は3回羽状複葉で互生します。ことわざの「梅檀は双葉より香し」のセンダンは本種ではなく、ビャクダン科のビャクダンのことです。

場所：車庫前、2P下堰堤前他

##### トベラ（扉・海桐花）トベラ科トベラ属（写真3右）

別名トビラノキとも呼ばれる、常緑低木で、海岸に自生します。花には甘い芳香があり、始めは白色で古くなるとクリーム色になります。節分の日に、臭気のある枝葉を戸口に差して疫鬼を追い払う習慣があり、和名はトビラノキから訛化しました。今年はたくさんの花が咲いており、辺りに芳香が漂っています。

場所：多目的広場から見本園への赤い橋横

#### その他開花情報

木本…クリ、ユリノキ、タイサンボク、コガクウツギ、イボタノキ、スイカズラ、バイカツツジ、カルミア他

草本…マツバウンラン、ニガナ、ルピナス、ラベンダー、ムラサキツユクサ、シラン他



写真1上 ヤマボウシ (レストハウス前) H26.6.5



写真1下左 ウツギ (苗畑) H26.6.5



写真1右 サラサウツギ (苗畑) H26.6.5



写真2左 ハコネウツギ (苗畑) H26.6.5



写真2右 コアジサイ (具木の森横) H26.6.5





写真3左 センダン (車庫前) H26.6.5



写真3右 トベラ (見本園赤い橋) H26.6.5